

安全データシート

シング®乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2002/02/09 改訂日: 2024/10/01

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : シング®乳剤
整理番号 : AGA10210Ja_09

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 農薬(除草剤)
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する

会社情報

供給者の会社名称

三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社

国内マーケティング部

東京都中央区日本橋一丁目 19 番 1 号

T 03-5290-2740 - F 03-3231-1176

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	引火性液体	区分 3
健康有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
	皮膚感作性	区分 1
	発がん性	区分 1B
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1(中枢神経系, 呼吸器系)	
誤えん有害性	区分 1	
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分 1
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分 1

*記載のないものは区分に該当しない、あるいは分類できない。

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

安全データシート

シング[®]乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

危険有害性 (GHS JP)

- : 引火性液体及び蒸気(H226)
- 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ(H304)
- 皮膚刺激(H315)
- アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(H317)
- 強い眼刺激(H319)
- 呼吸器への刺激のおそれ(H335)
- 眠気又はめまいのおそれ(H336)
- 発がんのおそれ(H350)
- 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い(H361)
- 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (中枢神経系、呼吸器系)(H372)
- 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性(H410)

注意書き (GHS JP)

安全対策

- : 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
- 容器を密閉しておくこと。(P233)
- 容器を接地しアースをとること。(P240)
- 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。(P241)
- 火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
- 静電気放電に対する措置を講ずること。(P243)
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
- 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
- 環境への放出を避けること。(P273)
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

- : 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
- 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。(P302+P352)
- 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。(P303+P361+P353)
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
- 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
- 無理に吐かせないこと。(P331)
- 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P333+P313)
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
- 火災の場合: 消火するために泡、耐アルコール泡、二酸化炭素(CO₂)、砂、消火粉を使用すること。(P370+P378)
- 漏出物を回収すること。(P391)

安全データシート

シング[®]乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

- 保管 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)
施錠して保管すること。(P405)
- 廃棄 : 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

他の危険有害性

- GHS で扱われない他の危険有害性 : 蚕に影響がある。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
- 化学名 : O-3-tert-ブチルフェニル=6-メトキシ-2-ピリジル(メチル)チオカルバマート
／2-クロロ-2', 6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド混合物
- 別名 : ピリブチカルブ／プレチラクロール製剤

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
ピリブチカルブ	12.0	-	8-(1)-2038	88678-67-5
プレチラクロール	8.0	-	4-(7)-1362	51218-49-6
有機溶剤、界面活性剤等	80.0			
芳香族炭化水素	65	-	-	64742-95-6
1,3,5-トリメチルベンゼン	4.0	(3)-7,(3)-3427	既存化学物質	108-67-8
1,2,4-トリメチルベンゼン	21	(3)-7,(3)-3427	既存化学物質	95-63-6
1,2,3-トリメチルベンゼン	5.7	(3)-7,(3)-3427	既存化学物質	526-73-8
クメン	0.1	(3)-22	既存化学物質	98-82-8
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	12	7-172	既存化学物質	9016-45-9

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐこと。
皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
皮膚刺激または発しん(疹)が生じた場合 : 医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で数分間注意深く洗うこと。
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるよう
に洗浄すること。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けるこ
と。
眼の刺激が続く場合 : 医師の診断／手当てを受けること。

安全データシート

シング®乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはいけない。
水で口の中を洗浄し、直ちに医師の診断／手当てを受けること。
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
毛布等で保温して安静に保つこと。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は有害物質に触れないよう、適切な保護具を着用すること。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない、棒状放水
- 火災危険性 : 引火性液体及び蒸気。
- 消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止すること。
危険なくできる時は、燃焼の供給源を速やかに止めること。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移すこと。
容器、周囲の設備等に散水して冷却すること。
消火活動は、可能な限り風上から行うこと。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

非緊急対応者

- 保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
- 応急処置 : 裸火、火花禁止、禁煙。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
漏出物との接触及び吸入を避けること。
- 応急処置 : 不要な職員を退避させる。
安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

安全データシート

シング[®]乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法

- : 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。
可能であればリスクなく漏出をせき止める。
乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収すること。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理すること。
水上に流出した非水溶性の製品は吸収材を使用して回収すること。

浄化方法

- : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

二次災害の防止策

- : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。
危険なくできる時は、漏出源を遮断し、漏れを止めること。

その他の情報

- : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- : 作業所の十分な換気を確保する。
屋内で取り扱う場合は、「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行う。

安全取扱注意事項

- : 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
容器を接地すること/アースをとること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。
防爆型装置を使用する。
個人用保護具を着用する。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
作業場における製品の放出を避けるため、または最小限にするため、技術的に必要なあらゆる措置をとる。
取り扱う製品数は必要最小限にし、ばく露使用者の人数を最小限に抑える。
部屋の排気および全般的な換気を確保する。
危険エリア内の床、壁、その他の表面は定期的に清掃しなければならない。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

接触回避

- : 「10. 安定性及び反応性」記載の混触危険物質との接触及び保管を避けること。

衛生対策

- : 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗うこと。手袋等の汚染された保護具を持ち込まないこと。

保管

安全データシート

シング[®]乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

安全な保管条件

- : 換気の良い場所で保管すること。
- 涼しいところに置くこと。
- 容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。
- 食品、飲料、動物用飼料とは区別して保管すること。
- 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設けること。
- 直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけること。
- 法規に規定された基準に従い保管すること。

安全な容器包装材料

- : ガラスまたはポリエチレン瓶、ポリエチレン缶等。

技術的対策

- : 容器を接地すること／アースをとること。

容器包装材料

- : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

1,3,5-トリメチルベンゼン (108-67-8)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	1,3,5-トリメチルベンゼン # 1,3,5-Trimethylbenzene
許容濃度	120 mg/m ³
許容濃度	25 ppm
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻
1,2,4-トリメチルベンゼン (95-63-6)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	1,2,4-トリメチルベンゼン # 1,2,4-Trimethylbenzene
許容濃度	120 mg/m ³
許容濃度	25 ppm
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻
1,2,3-トリメチルベンゼン (526-73-8)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	1,2,3-トリメチルベンゼン # 1,2,3-Trimethylbenzene
許容濃度	120 mg/m ³
許容濃度	25 ppm
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻
クメン (98-82-8)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	クメン # Cumene
許容濃度	50 mg/m ³
許容濃度	10 ppm
特記事項 (JP)	経皮吸収; 発がん性分類 2B

安全データシート

シング[®]乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

クメン (98-82-8)	
規則参照	許容濃度等の勧告(2023年度)産衛誌 65 巻
日本 - ばく露限界値(厚生労働大臣が定める濃度の基準)	
現地名	クメン # Cumene
8時間濃度基準値	10 ppm
規則参照	労働安全衛生規則第 577 条の 2 第 2 項(令和 6 年 4 月 1 日施行)

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する、屋内で取り扱う場合には、局所排気装置および/または全体換気装置を使用する。
取り扱う場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具 : 防毒マスク(有機ガス用)、農薬用マスク
手の保護具 : 保護用手袋(不浸透性)
眼の保護具 : 保護眼鏡、ゴーグル、防災面
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する、保護帽子、保護服(不浸透性)、保護長靴等
環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
外観 : 油状液体
色 : 黄色澄明
臭い : 弱い刺激臭
pH : 3.7 (20%)
融点 : データなし
凝固点 : データなし
沸点 : データなし
引火点 : 44 °C [区分 3]
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
可燃性 : 引火性液体及び蒸気
蒸気圧 : データなし
相対密度 : 0.941 (20°C)
密度 : データなし
相対ガス密度 : データなし
溶解度 : データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) : データなし
爆発限界 (vol %) : データなし
動粘性率 : 2.32 mm²/s (44°C)
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 引火性液体及び蒸気。
化学的安定性 : 通常の条件下では安定。

安全データシート

シング[®]乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。
混触危険物質	: アルカリ。
危険有害な分解生成物	: 燃焼時、有害ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

シング [®] 乳剤	
LD50 経口 ラット	4800 mg/kg (雌)、5400 mg/kg (雄)
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg
ピリプチカルブ	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 5000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 6.52 mg/L/4h
プレチラクロール	
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg (雌)
LD50 経皮 ラット	> 5000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 5.08 mg/L/4h (雌雄)
1,3,5-トリメチルベンゼン	
LD50 経口	5000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	24 mg/L/4h
1,2,4-トリメチルベンゼン	
LD50 経口	3280 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	18 mg/L/4h
1,2,3-トリメチルベンゼン	
急性毒性 (経口)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (経皮)	データなし
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データなし
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	
急性毒性 (経口)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。

安全データシート

シング[®]乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル	
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である (EO 9.5 の場合) (NITE 有害性評価書 (2007))。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: 皮膚刺激
ピリプチカルブ	
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ 刺激性なし
プレチラクロール	
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ 皮膚刺激性なし
1,3,5-トリメチルベンゼン	
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
1,2,4-トリメチルベンゼン	
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
1,2,3-トリメチルベンゼン	
皮膚腐食性/刺激性	データなし
ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル	
皮膚腐食性/刺激性	ヒトにおいて一次刺激性を示すとの記載より、区分 2 とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 強い眼刺激
ピリプチカルブ	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	ウサギ 刺激性なし
プレチラクロール	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	ウサギ 眼への刺激性なし
1,3,5-トリメチルベンゼン	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分 2B
1,2,4-トリメチルベンゼン	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分 2
1,2,3-トリメチルベンゼン	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	データなし
ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	ウサギを用いた眼刺激性試験より、区分 2A とした。
呼吸器感作性	: 分類できない
プレチラクロール	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
1,3,5-トリメチルベンゼン	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

安全データシート

シング[®]乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

1,2,4-トリメチルベンゼン	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
1,2,3-トリメチルベンゼン	
呼吸器感作性	データなし
クメン	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
ピリプチカルブ	
皮膚感作性	モルモット 感作性なし
プレチラクロール	
皮膚感作性	マウス LLNA 陽性 [区分 1B]
1,3,5-トリメチルベンゼン	
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
1,2,4-トリメチルベンゼン	
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
1,2,3-トリメチルベンゼン	
皮膚感作性	データなし
クメン	
皮膚感作性	区分に該当しない。
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: 分類できない
ピリプチカルブ	
生殖細胞変異原性	Ames 試験、染色体異常試験、小核試験(マウス) 陰性
プレチラクロール	
生殖細胞変異原性	動物実験において遺伝子の突然変異への影響はなかった。
1,3,5-トリメチルベンゼン	
生殖細胞変異原性	区分に該当しない。
1,2,4-トリメチルベンゼン	
生殖細胞変異原性	区分に該当しない。
1,2,3-トリメチルベンゼン	
生殖細胞変異原性	in vivo 試験のデータが無く分類できない。

安全データシート

シング[®]乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

クメン	
生殖細胞変異原性	in vivo における一部の投与経路や臓器で弱い反応が見られたが、in vitro を含む他の知見はすべて陰性であったことから、区分に該当しない。
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	
生殖細胞変異原性	区分に該当しない。
発がん性	: 発がんのおそれ
ピリプチカルブ	
発がん性	分類できない
プレチラクロール	
発がん性	動物実験で発がんの証拠は無い。
1,3,5-トリメチルベンゼン	
発がん性	データ不足のため分類できない。
1,2,4-トリメチルベンゼン	
発がん性	データ不足のため分類できない。
1,2,3-トリメチルベンゼン	
発がん性	データなし
クメン	
発がん性	マウスの適正な試験で雌雄両性に肺腫瘍をはじめとした複数種の悪性を含む腫瘍の増加が認められたことから、動物実験において発がん性の十分な証拠があると判断し、区分 1B とした。
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
ピリプチカルブ	
生殖毒性	催奇形性試験(ラット、ウサギ)の結果、親動物に一般毒性が認められる用量でも生殖毒性・催奇形性は認められなかったことから区分に該当しない。
プレチラクロール	
生殖毒性	生殖に対する毒性は無い。
1,3,5-トリメチルベンゼン	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
1,2,4-トリメチルベンゼン	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
1,2,3-トリメチルベンゼン	
生殖毒性	データなし
クメン	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。

安全データシート

シング®乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 眠気又はめまいのおそれ 呼吸器への刺激のおそれ
ピリプチカルブ	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
ブレチラクロール	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2 (中枢神経系)
1,3,5-トリメチルベンゼン	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
1,2,4-トリメチルベンゼン	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	本物質を含む異性体混合物で区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)とした。
1,2,3-トリメチルベンゼン	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性)
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (中枢神経系, 呼吸器系)
ピリプチカルブ	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
ブレチラクロール	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2 (腎臓)
1,3,5-トリメチルベンゼン	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒト症例における喘息を伴う気管支炎を呼吸器への影響と考え、区分 1 (呼吸器)とし、また中枢神経系への影響が区分 1 の用量範囲でみられることから、区分 1 (中枢神経系)とした。よって、区分 1 (中枢神経系、呼吸器)とした。
1,2,4-トリメチルベンゼン	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトにおいて中枢神経系影響が示唆され、区分 1 の用量範囲で中枢神経系、呼吸器への影響がみられることから、区分 1 (中枢神経系、呼吸器)とした。
1,2,3-トリメチルベンゼン	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ 区分 1 の有機溶剤を 10%以上含み、かつ、40°Cでの動粘性率が 20.5 mm ² /s 以下のため、区分 1 とした。
シング®乳剤	
動粘性率	2.32 mm ² /s (44°C)

安全データシート

シング®乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ピリプチカルブ	
誤えん有害性	分類できない
プレチラクロール	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
1,3,5-トリメチルベンゼン	
誤えん有害性	本物質は炭化水素化合物であり、20°C及び50°Cでの動粘性率はそれぞれ0.843及び0.630 mm ² /sであることから、区分1とした。
1,2,4-トリメチルベンゼン	
誤えん有害性	本物質は炭化水素化合物であり、異性体である1,3,5-トリメチルベンゼンの値から、動粘性率が20.5 mm ² /sより低値になると推定し、区分1とした。
1,2,3-トリメチルベンゼン	
誤えん有害性	データなし
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

- 水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に非常に強い毒性
藻類の急性データに基づき、区分1とした。
- 水生環境有害性 長期(慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
急性区分1であり、急速分解性が不明であることから、区分1とした。

シング®乳剤

LC50 - 魚 [1]	6.78 mg/L コイ
EC50 - 甲殻類 [1]	6.61 mg/L ミジンコ
ErC50 藻類	0.174 mg/L 緑藻

残留性・分解性

シング®乳剤

残留性・分解性	データなし
---------	-------

生体蓄積性

シング®乳剤

生体蓄積性	データなし
-------	-------

土壌中の移動性

シング®乳剤

土壌中の移動性	データなし
---------	-------

安全データシート

シング[®]乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

残余廃棄物 : 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理すること。
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託すること。

地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報 : 引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。
空の容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 1993
正式品名(UN RTDG) : その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)(芳香族炭化水素混合物)
容器等級(UN RTDG) : III
輸送危険物分類(UN RTDG) : 3
危険物ラベル(UN RTDG) : 3



クラス(UN RTDG) : 3
少量危険物(UN RTDG) : 5L
微量危険物(UN RTDG) : E1
包装指令(UN RTDG) : P001、IBC03、LP01
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/要件(UN RTDG) : T4
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/特別要件(UN RTDG) : TP1、TP29

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質
非該当

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

安全データシート

シング[®]乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

緊急時応急措置指針番号 : 128
その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 : 第3種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第5号) コールターナフサ(ソルベントナフサを含む)
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)
トリメチルベンゼン
石油ナフサ
【改正後 令和7年4月1日以降】
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)
2-クロロ-2', 6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド(別名プレチラクロール)
【改正後 令和8年4月1日以降】
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)
ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル
危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)
その他の引火点30℃以上65℃未満のもの
その他の引火点0℃以上30℃未満のもの
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)
トリメチルベンゼン(政令番号: 404) (31%)
クメン(政令番号: 138) (0.1%)
石油ナフサ(政令番号: 330) (65%)
【改正後 令和7年4月1日以降】
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)
2-クロロ-2', 6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド(別名プレチラクロール) (8.0%)
【改正後 令和8年4月1日以降】
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)
ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル (12%)
特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者(法第66条第2項、施行令第22条第1項)
石油ナフサ
濃度基準値設定物質(安衛則第577条の2第2項、令和5年4月27日告示第177号、令和5年4月27日公示第24号)
クメン
皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧)
2-クロロ-2', 6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド(別名プレチラクロール)
毒物及び劇物取締法 : 非該当

安全データシート

シング[®]乳剤

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

消防法	: 第4類引火性液体、第二石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1・第4類)
船舶安全法	: 引火性液体類(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)
航空法	: 引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	: その他の危険物・引火性液体類(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) トリメチルベンゼン(管理番号: 691)(31%) N-(6-メトキシ-2-ピリジル)-N-メチルチオカルバミン酸O-3-ターシャリーブチルフェニル(別名 ピリブチカルブ)(管理番号: 450)(12.0%) 2-クロロ-2', 6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド(別名 プレチラクロール)(管理番号: 100)(8.0%) ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が9のものに限る。)(管理番号: 410)(12.0%)
労働基準法	: がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号) すず、鉍物油、タール、ピッチ、アスファルト又はパラフィン
農薬取締法	: 登録番号第 18541 号

16. その他の情報

シングは三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社の登録商標です。

免責条項 当該シートに記載されている情報は現時点で入手した資料に基づいて作成しております。記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取扱いには注意して下さい。含有量、物理的及び化学的性質、危険有害性等の記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

また、製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負いかねます。

なお、当該シートは本製品にのみ適用され、本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがありますので、ご注意の上、お取り扱い願います。